

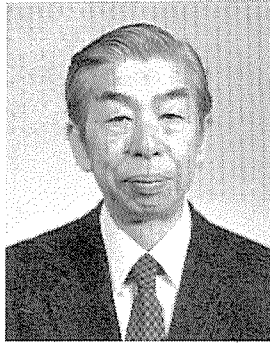


著作目録（本田睦）

著者	東北大学史料館
号	328
発行年	1987-03
URL	http://hdl.handle.net/10097/00065146

本 田 睦 教 授 著 作 目 録

昭 和 62 年 3 月
東 北 大 学 記 念 資 料 室
(著 作 目 録 第 328 号)



本田 睦 教授 略 歴

生年月日	大正13年 1 月10日
本 籍 地	鹿児島県
住 所	

昭和20年 9 月	東京帝国大学第一工学部航空学科卒業
昭和22年 3 月31日	東北帝国大学高速力学研究所文部教官
昭和24年 5 月20日	東北大学高速力学研究所助教授
昭和28年 4 月 1 日	大学院工学研究科担当
昭和36年10月 1 日	東北大学高速力学研究所教授に昇任
昭和52年10月 1 日	東北大学評議員に併任（任期 昭和54年 9 月30日まで）
昭和54年 4 月 1 日	東北大学高速力学研究所長に併任
	東北大学評議員に併任（任期 昭和57年 3 月31日まで）
昭和57年 4 月 1 日	東北大学高速力学研究所長に併任
	東北大学評議員に併任（任期 昭和59年 3 月31日まで）
昭和60年 6 月16日	東北大学高速力学研究所附属気流計測研究施設長に併任 （任期 昭和62年 3 月31日まで）

著 作 目 録

研 究 論 文

1. 平行 2 平面間の乱流に関する理論
東北大学高速力学研究所報告, 第 4 巻 (1951), 103-112頁.
2. 平行ならざる二平面間の乱流に関する理論
東北大学高速力学研究所報告, 第 4 巻 (1951), 113-124頁.
3. 圧力上昇を伴う乱流境界層の理論 (第 1 報) 速度分布
東北大学高速力学研究所報告, 第 5 巻 (1951), 31- 37頁.
4. 亜音速流における翼型特性の理論 (第 1 報, 単独翼)
東北大学高速力学研究所報告, 第 5 巻 (1951), 55- 70頁.
共著者: 渋谷 巖
5. 亜音速流における翼型特性の理論 (第 2 報, 直線軸翼列)
東北大学高速力学研究所報告, 第 7 巻 (1952), 1- 7頁.
共著者: 渋谷 巖
6. Theoretical Research on Transonic Flow (Report 1)
Rep. Inst. High Speed Mech., Tōhoku Univ., Vol. 3 (1953), pp. 51-70.
遷音速流に関する理論的研究 (第 1 報)
東北大学高速力学研究所報告, 第11巻 (1955), 61- 79頁.
7. Theoretical Research on Transonic Flow (Report 2)
Rep. Inst. High Speed Mech., Tōhoku Univ., Vol. 4 (1954), pp. 37-53.
遷音速流に関する理論的研究 (第 2 報)
東北大学高速力学研究所報告, 第16巻 (1960 / 1961), 1-18頁.
8. Theory of Subsonic Flow through Aerofoils in Lattice
Rep. Inst. High Speed Mech., Tōhoku Univ., Vol. 5 (1955),
pp. 137-157.
亜音速流における直線軸翼列の理論
東北大学高速力学研究所報告, 第11巻 (1955), 191-210頁.

9. Theory of the Interaction between Oblique Shock Waves and Laminar Boundary Layers
Rep. Inst. High Speed Mech., Tōhoku Univ., Vol.8 (1957), pp.109-130.

層流境界層と斜めの衝撃波との干渉に関する理論

東北大学高速力学研究所報告, 第13巻 (1957), 75-93頁.

10. A Theoretical Investigation of the Interaction Between Shock Waves and Boundary Layers
J. Aero / Space Sci., Vol.25 (1958), pp. 667-678.
Rep. Inst. High Speed Mech., Tōhoku Univ., Vol.11 (1959 / 1960), pp. 23-53.

衝撃波と境界層との干渉に関する理論的研究

東北大学高速力学研究所報告, 第18巻 (1962 / 1963), 1-30頁.

11. Theory of a Thin Wing in a Shear Flow
Proc. Roy. Soc., Ser. A, Vol.254 (1960), pp. 372-394.
Rep. Inst. High Speed Mech., Tōhoku Univ., Vol.11 (1960 / 1961), pp. 161-191.

Shear Flow における薄翼の理論

東北大学高速力学研究所報告, 第18巻 (1962 / 1963), 31-60頁.

12. Theory of Shear Flow through a Cascade
Proc. Roy. Soc., Ser. A, Vol.265 (1961), pp. 46-70.
Rep. Inst. High Speed Mech., Tōhoku Univ., Vol.16 (1964 / 1965), pp. 85-118.

13. Stream-function Co-ordinates in Rotational Flow and an Analysis of the Flow in a Shock Layer, Part I. Two-Dimensional Flow
J. Inst. Maths Applies, Vol. 1 (1965), pp. 127-148.
Rep. Inst. High Speed Mech., Tōhoku Univ., Vol.19 (1967 / 1968), pp. 113-141.

渦あり流れにおける流れ関数座標系と衝撃層内の流れの解析, 第1部. 二次元流

東北大学高速力学研究所報告, 第22巻 (1967 / 1968), 103-129頁.

14. Stream-function Co-ordinates in Rotational Flow and an Analysis of the Flow in a Shock Layer, Part II. Axisymmetric Flow
J. Inst. Maths Applies, Vol. 2 (1966), pp. 55-75.

Rep. Inst. High Speed Mech., Tōhoku Univ., Vol.19 (1967 / 1968),
pp. 143-172.

渦あり流れにおける流れ関数座標系と衝撃層内の流れの解析, 第Ⅱ部. 軸対称流
東北大学高速力学研究所報告, 第23巻 (1967 / 1968), 131-157頁.

15. An Analysis of Second-Order Effects on Laminar Boundary-Layer Flow
J. Fluid Mech., Vol.35 (1969), pp. 145-169.
Rep. Inst. High Speed Mech., Tōhoku Univ., Vol.15 (1972),
pp. 61-98.

層流境界層流れに及ぼす二次効果の解析

東北大学高速力学研究所報告, 第29巻 (1971), 95-131頁.

共著者: 清川義信

16. 衝撃層内における層流境界層の発達に関する理論
東北大学高速力学研究所報告, 第30巻 (1972), 311-353頁.
共著者: 五十嵐三武郎

17. Study on the Motion of Shock Waves Propagating along Perforated
Ducts
Rep. Inst. High Speed Mech., Tōhoku Univ., Vol.30 (1974),
pp. 1-30.

多孔壁管に沿って伝播する衝撃波の挙動に関する研究

東北大学高速力学研究所報告, 第34巻 (1974), 1-27頁.

共著者: 高山和喜, 小野寺収

18. 非対称超音速流の解析
東北大学高速力学研究所報告, 第36巻 (1975), 89-119頁.
共著者: 杉山 弘

19. Motion of Reflected Shock Waves in Shock Tubes
Modern Developments in Shock Tube Research, Proc. 10th Intern.
Shock Tube Symposium, Shock Tube Research Society, Japan
(1975), pp. 320-327.

反射衝撃波と境界層の干渉

東北大学高速力学研究所報告, 第41巻 (1978), 1-22頁.

共著者: 小浜泰昭, 高山和喜

20. An Analytical Method for Turbulent Boundary-Layer Flow with Strong Pressure Gradient (Incompressible Flow)
Imperial College Aero Report 75-06, 1975.
21. An Analysis of Turbulent Boundary-Layer Flow without Pressure Gradient, Part 1. Incompressible Flow
Rep. Inst. High Speed Mech., Tōhoku Univ., Vol.33 (1976), pp. 1-21.
共著者：五十嵐三武郎
22. An Analysis of Turbulent Boundary-Layer Flow without Pressure Gradient, Part 2. Compressible Flow
Rep. Inst. High Speed Mech., Tōhoku Univ., Vol.33 (1976), pp.23-49.
共著者：五十嵐三武郎
23. Shock Propagation along 90 Degree Bends
Rep. Inst. High Speed Mech., Tōhoku Univ., Vol.35 (1977), pp.83-111.
Proc, 11th Intern. Symp..on Shock Tubes and Waves, Univ. Washington Press (1978), pp. 74-81.
共著者：高山和喜, 小野寺 収
24. An Analysis of Turbulent Boundary-Layer Flow under a Steep Pressure Rise, Part 1. Laminar Flow
Rep. Inst. High Speed Mech., Tōhoku Univ., Vol.40 (1979), pp.51-68.
共著者：五十嵐三武郎
25. An Analysis of Turbulent Boundary-Layer Flow under a Steep Pressure Rise, Part 2. Turbulent Flow
Rep. Inst. High Speed Mech., Tōhoku Univ., Vol.40 (1979), pp.69-87.
共著者：五十嵐三武郎, 佐々木博志
26. 曲面をすぎる衝撃波の反射に関する実験的研究
東北大学高速力学研究所報告, 第44巻 (1980), 1-37頁.
共著者：高山和喜, 小野寺収, 河内利英
27. 東北大学高速力学研究所附属気流計測研究施設低乱熱伝達風洞設備および風洞性能について
東北大学高速力学研究所報告, 第44巻 (1980), 93-151頁.
共著者：伊藤英覚ほか12名

28. 翼形まわりの遷音速流れの数値解析法
東北大学高速力学研究所報告, 第48巻 (1982), 79-98頁.
共著者: 鈴木 允
29. 翼形まわりの遷音速流れに及ぼす風洞壁効果に関する数値解析
東北大学高速力学研究所報告, 第48巻 (1982), 99-117頁.
共著者: 鈴木 允
30. ホログラフィー干渉計による円柱まわりの非定常流れの可視化
流れの可視化学会誌, 第4巻 (1984), 115-120頁.
共著者: 高山和喜, 伊藤勝宏
31. 主流速度が変化する流れにおける翼形の特性, 第1部. 理論
東北大学高速力学研究所報告, 第54巻 (1985), 1-13頁.
共著者: 佐々木博志, 五十嵐三武郎
32. 主流速度が変化する流れにおける翼形の特性, 第2部. 実験
東北大学高速力学研究所報告, 第54巻 (1985), 15-25頁.
共著者: 佐々木博志, 五十嵐三武郎
33. 狭まり及び拡がり流れの中におかれた平板に沿う層流境界層の発達
東北大学高速力学研究所報告, 第56巻 (1986), 119-139頁.
共著者: 佐々木博志, 五十嵐三武郎

展 望

せん断流れの解析に関連して
日本機械学会誌, 第74巻 (1971), 第634号, 1454-1459頁.

著 書

流体力学

丸善株式会社, 昭56
共著者: 伊藤英覚

機械工学便覧

基礎編 A 5 流体力学, 日本機械学会 (1986), 165-169頁.

学 位 論 文

Theoretical Research on Transonic Flow and on the Interaction
Between Shock Waves and Boundary Layers

工学博士，昭和36年